

1月29日 全校放送 「卒業式」について

私は、教師という仕事に就いて36年目になりますが、この時期になるといつも思い出す情景があります。それは、3年生の学級担任をしていた時の、卒業式後の3年生教室です。

想像してみてください。そこには、誰もいません。机とイスがあるだけです。つい昨日まで、ついさっきまで、たくさんの笑い声が聞こえていた教室です。みんなで1年間見上げてきた学級目標も剥がしてしまっていて、もうありません。毎日「整理整頓しなさい」と叱っていたロッカーの中も、机の中も空っぽで、シーンと静まり返った教室。「ああ、ここでたくさんのうれしいこと、ときには辛いことがあったな」「皆、卒業していつちゃったのだな」「もう、この教室にあのメンバーが集まることはないのだな」、そう思うと、自分だけ置いて行かれてしまったような寂しい気持ちと、卒業生が立派に卒業していったことをうれしく思う気持ちが入り乱れて、一人、教室から動くことができないのです。しばらくして、誰かが「お祝いの会をしましょうよ」と呼びに来てくれて、「みんな、立派になって卒業していったのだ。」と、卒業生を誇らしく思う気持ちと卒業への喜びをかみしめながら、ようやく教室を出ることができるのです。

わずか1～2年の付き合いの学級担任ですら、このような気持ちになります。ましてや、15年間卒業生の皆さんを育てたご家族の喜びは、計り知れません。地域の方もそうです。「よちよち歩きだったあの子が、こんなに立派になって、今日、卒業式を迎えた」と、嬉しさでいっぱいになります。

このような、人生の節目の大切な儀式である卒業式。しかしながら、コロナ禍、感染拡大防止が必須なため、今年度の板倉中学校卒業式は、次のようになります。

- ・参列者を、卒業生、卒業生の保護者（各家庭2名まで）、板倉中職員とします。ご来賓である地域の方の参列は、なしとしました。1・2年生は食堂など別会場でのリモート参列とする予定です。
- ・式歌や卒業記念合唱等を割愛して、時間を短縮して行います。
- ・その他、詳細は各学年部の職員から知らせます。

入学式同様、卒業式を縮小することで、みなさんは高齢者をはじめ、私たち地球に生きる人々の命を救っているのです。命を尊び、大切に当事者となることは、誇りに思うべき素晴らしいことです。もちろん私もみなさんを誇りに思います。

あと、1か月とすこしで卒業です。3年生の皆さん、有終の美を飾って、皆さんの最高の姿を見せて、巣立ってください。姿勢を正し、指先までピシッとして、素晴らしい返事で卒業証書を受け取る姿、皆さんが醸し出す卒業式にふさわしい厳粛な雰囲気、そんな最高の姿を見せてくれることを、これまでの皆さんから、私は確信しています。

1・2年生の皆さん。たくさんある行事の中でも、卒業式は特別な行事です。皆さんのできる、最高のお祝いをしてください。例え別会場でのリモート参列になったとしても、最高の姿勢、最高の拍手、最高の礼で、お世話になった卒業生の新しい門出を祝ってください。

全校の皆さん、残り少ない1か月、感動の卒業式に向けて、毎日の授業や活動に一生懸命取り組んでください。